



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,795	38.3	83		87		59	
2021年3月期第1四半期	1,298	22.4	38		37		29	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 24百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 5百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	10.95	
2021年3月期第1四半期	5.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,171	4,545	55.6
2021年3月期	8,138	4,634	56.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 4,544百万円 2021年3月期 4,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		20.00		21.00	41.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		20.00		21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	30.8	530	143.1	524	137.4	341	150.1	62.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	5,500,000 株	2021年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	51,446 株	2021年3月期	51,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	5,448,554 株	2021年3月期1Q	5,448,578 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、経済活動の抑制が続いているものの、一部の業種に設備投資などを持ち直す動きがみられ、ワクチン接種の普及によって、今後さらに経済活動が回復に向かうことが期待されます。

このようなコロナ禍の状況においても、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の販売は、堅調に推移いたしました。FA装置関係につきましては、半導体業界や電子部品業界の需要の拡大が続き、自動車業界の需要も高まっているものの、新規設備投資としては小規模な案件に留まっており、よって、受注環境としては依然として厳しい状況が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,795百万円（前年同四半期比138.3%）、営業利益は83百万円（前年同四半期は38百万円の営業損失）、経常利益は87百万円（前年同四半期は37百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円（前年同四半期は29百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用による売上高及び各利益への影響はありません。

ところで、当社グループは、2021年3月に公表した中期経営計画の数値目標達成に向け、今後のWith/Post COVID-19のニューノーマル時代に対応すべく、既存顧客に対するサービス向上、及び新規顧客獲得に向けた営業活動と営業支援について、また、生産効率を高め、コスト削減を図るための施策を推進するために様々なプロジェクトを立ち上げ、各部門の連携強化を図っております。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売では、COVID-19の影響による営業活動への支障は徐々に解消されつつあるものの、オンラインによる営業活動において、その効果をより発揮できる当社独自の「カクチャTM」及び「マーキングシステムTM」を活用した作図案件や新規引合い案件は堅調に推移いたしました。さらに一部の業界の復調により、一般顧客向けの販売がCOVID-19発生以前と同等程度まで回復し、前年第1四半期よりも売上高は増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,143百万円（前期比132.8%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、主要顧客である自動車部品製造企業での生産量は増加しているものの、大規模な設備導入というレベルには至っていないという状況下において、小規模案件で多数の安定した受注がありました。

この結果、当部門の売上高は197百万円（前期比96.0%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社とも前年度においてCOVID-19の影響を受けて減少していた消耗品や治工具類が回復傾向にあります。また機械設備関係については大型受注があり、前年第1四半期よりも売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は454百万円（前期比196.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ32百万円増加し、8,171百万円となりました。これは主に、電子記録債権が167百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が149百万円減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ122百万円増加し、3,626百万円となりました。これは主に、電子記録債務が334百万円、賞与引当金が36百万円、それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が227百万円、未払法人税等が29百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ89百万円減少し、4,545百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上59百万円があった一方で配当金の支払い114百万円があったことにより、利益剰余金が54百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が31百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ28百万円減少し、1,432百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の126百万円のキャッシュ・インに対し、194百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税引前当期純利益が87百万円あったことや仕入債務の増加による資金の増加107百万円があった一方で、法人税等の支払額が63百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の34百万円のキャッシュ・アウトに対し、101百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が90百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の113百万円のキャッシュ・アウトに対し、123百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払額が111百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年5月7日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,461,114	1,432,212
受取手形及び売掛金	992,727	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	843,396
電子記録債権	1,128,961	1,296,906
商品及び製品	185,862	227,914
仕掛品	671,246	637,343
原材料及び貯蔵品	431,009	437,391
その他	37,020	35,317
流動資産合計	4,907,941	4,910,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,079,956	3,080,272
減価償却累計額	△1,451,057	△1,476,865
建物及び構築物（純額）	1,628,899	1,603,406
土地	733,647	733,647
その他	1,191,079	1,262,277
減価償却累計額	△730,979	△735,479
その他（純額）	460,100	526,797
有形固定資産合計	2,822,647	2,863,851
無形固定資産		
その他	37,048	34,723
無形固定資産合計	37,048	34,723
投資その他の資産		
その他	371,016	362,317
投資その他の資産合計	371,016	362,317
固定資産合計	3,230,712	3,260,892
資産合計	8,138,653	8,171,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	850,827	623,188
電子記録債務	810,474	1,144,798
1年内返済予定の長期借入金	331,000	331,000
未払法人税等	72,422	43,052
賞与引当金	69,278	105,425
製品保証引当金	1,119	1,318
その他	241,282	253,649
流動負債合計	2,376,405	2,502,432
固定負債		
長期借入金	803,000	803,000
退職給付に係る負債	222,265	220,248
その他	102,152	100,653
固定負債合計	1,127,418	1,123,902
負債合計	3,503,824	3,626,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,276,743	4,222,026
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	4,543,688	4,488,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,169	38,505
為替換算調整勘定	20,902	17,507
その他の包括利益累計額合計	91,072	56,012
非支配株主持分	68	56
純資産合計	4,634,829	4,545,040
負債純資産合計	8,138,653	8,171,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,298,476	1,795,870
売上原価	1,041,971	1,410,278
売上総利益	256,504	385,592
販売費及び一般管理費	295,059	302,361
営業利益又は営業損失(△)	△38,554	83,230
営業外収益		
受取配当金	1,280	1,520
仕入割引	1,510	1,050
為替差益	—	1,700
固定資産売却益	—	1,348
その他	683	590
営業外収益合計	3,474	6,210
営業外費用		
支払利息	1,838	2,137
為替差損	737	—
その他	13	30
営業外費用合計	2,589	2,167
経常利益又は経常損失(△)	△37,669	87,273
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△37,669	87,273
法人税、住民税及び事業税	5,408	38,650
法人税等調整額	△13,164	△11,070
法人税等合計	△7,756	27,580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,913	59,693
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,899	59,702

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,913	59,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,696	△31,664
為替換算調整勘定	6,493	△3,397
その他の包括利益合計	24,190	△35,062
四半期包括利益	△5,723	24,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,713	24,642
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△37,669	87,273
減価償却費	49,904	57,890
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,304	36,146
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△144	199
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,491	△2,016
受取利息及び受取配当金	△1,283	△1,521
支払利息及び手形売却損	1,838	2,137
売上債権の増減額(△は増加)	219,602	△18,065
棚卸資産の増減額(△は増加)	△305,593	△16,514
仕入債務の増減額(△は減少)	15,697	107,333
未払消費税等の増減額(△は減少)	113,837	△19,361
為替差損益(△は益)	687	△1,088
その他	34,937	26,986
小計	127,612	259,398
利息及び配当金の受取額	1,283	1,521
利息の支払額	△1,838	△2,137
法人税等の支払額	△857	△63,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,199	194,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,715	△90,185
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△1,082
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
その他	△1,329	△8,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,245	△101,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△105,580	△111,297
その他	△7,476	△11,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,057	△123,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,463	745
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,639	△28,901
現金及び現金同等物の期首残高	671,945	1,461,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	652,305	1,432,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識関係)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当社グループは、従来は装置品製作請負に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる装置品製作には工事進行基準を、それ以外の装置品製作には工事完成基準を適用しておりました。これを当第1四半期連結会計期間より、一定の期間にわたり充足される履行義務は、製作期間がごく短い装置品を除き、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができる場合に、当該進捗度を見積り、これに基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合(インプット法)で算出しております。また、当該進捗度を合理的に見積もることができない場合には、発生したコストの範囲で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」

(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価会計関係)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,103,091	88.8	1,344,131	85.7
装置部門	292,126	110.6	292,668	80.2
商事部門	433,576	226.6	610,338	186.4
合計	1,828,794	107.7	2,247,138	99.4

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	1,143,491	132.8
装置部門	197,540	96.0
商事部門	454,839	196.2
合計	1,795,870	138.3